



多久市 市制70周年

TAKU CITY 70th ANNIVERSARY

昭和29年5月1日、1町4村が合併して誕生した多久市。
以来、時流に乗って変化しながら発展してきました。
今年には記念すべき市制70年目。

今回は、これまで市民のみなさんが作り上げてきた多久市の軌跡をたどります。
記念事業も多数計画中。
一緒に多久市の「70歳」をお祝いしましょう。



特集
1

いつの時代も、主役は市民のみなさんでした。

- 1954 昭和29年 ● 北多久町、東多久村、南多久村、多久村、西多久村が合併し「多久市」誕生
- 1963 昭和38年 ● 県立多久工業高等学校が開校
- 1964 昭和39年 ● 中多久駅開業
- 1972 昭和47年 ● 最後の炭鉱であった新明治佐賀炭鉱が閉山
- 1974 昭和49年 ● 市の花「うめ」、市の木「かえで」が決まる
- 1976 昭和51年 ● 陸上競技場が完成し、第31回国民体育大会の少年サッカー競技の会場となる
- 1980 昭和55年 ● 多久聖廟祭行事が県の重要無形民俗文化財に指定
- 1983 昭和58年 ● 聖廟展示館が完成
- 1984 昭和59年 ● 鬼の鼻山に草スキー場オープン
- 1990 平成2年 ● 昭和から平成にかけての多久聖廟の大改修が終わる
- 1993 平成5年 ● 多久市物産館「朋来庵」完成
- 1996 平成8年 ● 佐賀唐津道路(厳木・多久バイパス)が一般通行開始
- 1997 平成9年 ● 市内全小中学校で学校給食開始
- 2000 平成12年 ● 佐賀中部広域連合(広域消防・介護)スタート
- 2001 平成13年 ● 多久スポーツピアが発足
- 2002 平成14年 ● 多久工業高等学校が総合学科を取り入れ「多久高等学校」に
- 2003 平成15年 ● 中央中学校が全日本少年軟式野球大会で全国優勝を飾る
- 2008 平成20年 ● 多久聖廟300年記念式典
- 2009 平成21年 ● 市内小学校全87クラスに電子黒板を配備
- 2010 平成22年 ● 孔子先生をイメージした多久市観光キャラクター「多久翁さん」誕生
- 2013 平成25年 ● 小中一貫校開校式
- 2017 平成29年 ● 多久市児童センターあじさいを開設
● 義務教育学校がスタート
- 2019 令和元年 ● 2019日本ICTアワードで総務大臣賞を受賞
- 2021 令和3年 ● 東京2020オリンピック聖火リレーで9人のランナーが市内を走り聖火をつなぐ
- 2022 令和4年 ● 県内最大の弓道場「多久市緑が丘弓道場」が完成
- 2023 令和5年 ● 多久市立図書館創立100周年
● 日本有数のクライミング施設「九州クライミングベースSAGA」オープン
- 2024 令和6年 ● 市制施行70周年記念式典(5月1日開催予定)
● 国民スポーツ大会(弓道・スポーツクライミング)開催予定

